

# 胎児認知後の出生届記入例

## 出生届

令和 XX 年 XX 月 XX 日届出

在メルボルン日本国総領事 殿

### <注意事項>

- 届出はすべて日本語（漢字・カタカナ・ひらがな）で書いてください。また、消えやすいペン（消えるペン）や鉛筆等では書かないでください。
- 届出日は窓口で届出をする日、郵送する場合はポストに届出を投函する日を記入してください。
- South Australia は南オーストラリア州と記載してください。
- 戸籍に記載されるお子様の出生地は、州（生まれた病院の最小行政区）までとなります。
- 裏面又は2枚目の「出生証明書欄」は**記入しない**でください。

(1)	子の氏名	(よみかた) がいむ はなこ 氏 名 外務 マリア花子	父母との 続き柄	<input type="checkbox"/> 嫡出子 (長 <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女) <input checked="" type="checkbox"/> 嫡出でない子
(2)	生まれたとき	令和 XX 年 XX 月 XX 日	<input checked="" type="checkbox"/> 午前 XX 時 XX 分 <input type="checkbox"/> 午後	
(3)	生まれたところ	オーストラリア連邦 ビクトリア州 パークビル, フレミントン通り		
(4)	住所	オーストラリア連邦 ビクトリア州メルボルン、パーク通り 570		
(5)	世帯主の氏名	外務 太郎	世帯主との続き柄	子
(6)	本籍及び国籍	父 外務 太郎	母 スミス ローズ	
(7)	同居を始めたとき	昭和 XX 年 XX 月 XX 日 (満 XX 歳)	19XX 年 XX 月 XX 日 (満 XX 歳)	
(8)	子が生まれたときのおもな世帯主の仕事	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） <input checked="" type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界帯（用者は5） <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯		
(9)	父母の職業	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください) 父の職業 _____ 母の職業 _____		
その他	署名	日本国籍を留保する <input type="checkbox"/>	署名	ローズ スミス 印 ROSE SMITH
届出人	住所	オーストラリア連邦 ビクトリア州メルボルン、パーク通り 570		
	本籍	オーストラリア連邦		
	署名	ローズ スミス 印	19XX 年 XX 月 XX 日	生

South Australia の場合は南オーストラリアと記載してください。

間違えた場合は、線で消してください。訂正印は不要です。

本人が氏名（ミドルネームも含む）直筆で記入し、代理人が読み方をカタカナで記入してください。

03-XXXX-XXXX (自宅) 04XX-XXX-XXX (携帯)  
abc@xxmail.com